



なのみ通信

令和4年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 2月6日 第10号

子どもが創る学校

「ありがとう」~なのみの木 メッセージボード~の取組を環境委員会の子どもたちが行っています。「〇〇してくれてありがとう」を全校の子どもたちが「葉」に書いて貼っていきます。たくさんの「ありがとう」を見つけてほしいです。



6年生の卒業に向けて、感謝の気持ちを!



昼休み、卒業プロジェクトに取り組む5年生

5年生を中心に6年生の卒業に向けたプロジェクトが始まりました。6年生への感謝の気持ちを全校で伝えるため、5年生が10のプロジェクトに分かれ準備を進めています。今週は、「メッセージソング」グループの子どもたちが、給食時間のお昼の放送で6年生への「応援ソング」を流してくれました。6年生への感謝と応援を全校みんなで共有する時間となりました。昼休みを使って準備するグループもあります。「6年生のために」と思いをめぐらせながら日々取組を行ってくれています。

「〇〇のために」頑張る子どもたちに高学年としての頼もしさを感じます。

あいさついっぱい地域へ! 互いを大切にできる会話を!

先日、東小田小学校運営協議会の会議において、地域の方が、こんな話をいただきました。「朝の登校の際、東小田小学校の子どもたちがよく挨拶をしてくれます。互いに挨拶を交わすことで、とてもいい気持ちになります。」私も朝、登校指導をしている際、ほとんどの子どもたちが、「おはようございます」と挨拶をしてくれます。時には、「行ってらっしゃい。」と声かけると「ってきます」と返してくれる子、ハイタッチをしてくれる子もいます。朝の登校指導は、安全の見守りですが、子どもたちと挨拶を交わし合う毎朝の時間は、とてもいい気持ちにさせてくれます。校内でも高学年を中心に、よく自分から挨拶してくれる子どもたちです。挨拶は、互いの気持ちを温かくし、元気を与えてくれます。大事にされてきた東小田小学校の挨拶の文化をもっと広げていけたらと思います。

さて、本年度4月に「なのみ 会話のあいうえお」を紹介しました。学校でも大事にしてる取組ですが、意識しないとなかなかできないものです。この「あいうえお」は、「友達を大切にする。友達から大切にされている」といった感覚を育て、互いに安心できる関係につながります。私たち大人も子どもたちとの会話でとても大切なことだと思います。私たちのまなざしや声かけが子どもたちの安心感を生み、自分が大切にされているといった感覚を育てていきます。ぜひ、これからも学校や家庭において、「なのみ 会話のあいうえお」に取り組んでいけたらと思います。

なのみ 会話のあいうえお

- あ** あいて め み 相手の目を見よう
- い** 「いいね!」たくさんほめよう
- う** 「うんうん」うなずいて聞こう
- え** えがお ことば 笑顔になる言葉をつかおう
- お** お はなし き 終わりまで話を聞こう

三匹の「鯛」

人の心には、三匹の鯛がいるというエピソードがあります。それは、誰の心にも

「ほめられたい」

「認められたい」

「役に立ちたい」



という「たい」がいるというお話です。誰かに認められる、必要とされてる感覚は、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を育みます。ぜひ、子どもたちの心にいる「3匹の鯛」を成長させてみてください。